

# 東日本大震災に対する池田町の取り組み

2011年3月11日東日本大震災(M9)が発生、地震にともなう大津波が襲撃しあらゆる物を飲み込んで宮城県、岩手県、福島県を中心に未曾有の災害をもたらした。福島第一原発も地震と津波の影響でレベル7というチェルノブイリ並みの重大事故を起こし、その後30km圏内は避難区域になった。その周辺地域でも放射能に汚染され、除染作業が始められている。池田町は義援金や救援物資・職員の派遣などをしてきた。その一部を紹介したい。なお、町民の中には勤務先や団体・個人等で被災地に対し様々なかたちで支援されていることを付記し、感謝します。

## 義援金

3/14~10/26 役場や社会福祉協議会、学校や新聞社などでの受付分

計 20,439,052円

## 救援物資

3/18

飲料水 1.5ℓペットボトル 1万本 岩手県産業文化センター

3/23~3/31

救援物資(カップ麺やインスタント麺、タオルや石けん、ティッシュ、ゴミ袋、使い捨てカイロ、乾電池、トイレットペーパー・おむつなど) 提供者914名

段ボール 420箱分

240箱 岩手県産業文化センター

180箱 宮城県

10/10~10/12

冬用布団 380枚 カバー・シーツ 218枚

提供者78名(内町外10名)

宮城県東松島市内 仮設住宅などへ

## 職員の派遣

保健師	保健センター	1名	岩手県陸前高田市	5/13~5/18
保健師	地域包括支援センター	1名	岩手県陸前高田市	5/25~5/30
水道課職員		1名	福島県国見町	9/1~24/3/31



液状化により浮上したマンホール。震度6強の国見町ではほとんどのマンホールが浮上している。

## もしも、この池田町で 大きな災害がおこったらどうする

- 最低限の水や保存食の確保
- 普段から各自が避難場所・避難経路を確認しておく事
- 誰が誰を支援しつつ避難するのが行政の立場から、災害時の細かい分担  
(各種相談、全戸調査、医療機関との連携、安否確認、仮設トイレの設置、給水工事や燃料配布等)や他県市町に求める緊急的・長期的支援内容

(保健師のレポートより抜粋)

大震災対談(12/11)  
中央公民館



左から大西暢夫カメラマン  
武田文子さん(東松島市)  
田畑八重子さん(陸前高田市)